

せせらぎシーサー通り会
会長 宮城 眞光

1. はじめに

1) 宜野湾市伊佐区概要

宜野湾市は米軍普天間基地が中央に位置し、国道、県道沿いに市街地がドーナツ状に発展した特異な形状をしています。伊佐区(2,118世帯：人口4,022人)は市の西側に位置し、国道58号線と宜野湾バイパス、県道81号線が地域内を通り、近隣には大型商業施設や宜野湾マリーナ、コンサート等が開催される宜野湾コンベンションセンター等、沖縄を代表するスポットもあり、中南部への交通アクセスも良い立地に位置しています。国道58号線より海側の区域は区画整理によって住宅街の中の道も整然としていて、一戸建て住宅やアパートのほか、バイパス沿道にはマンション等も立ち並び、地域内にはスーパーや飲食店のほか診療所等もあり、生活に必要な施設が充実しています。



宜野湾市伊佐区周辺マップ



宜野湾コンベンションセンター

2. 「ふんしんせせらぎ通り」について

宜野湾市は水と緑に恵まれた「健康都市」をめざし、まちづくりを進めています。こうした視点から、区画整理事業の一環として、1980年には国道58号線伊佐浜バス停西側の湧水「ふんしんがー(泉)」の水を利用し、集落西側の住宅地に水を引いてせせらぎが整備されました。総延長649メートル、区画内に延長200メートルの蛇行歩道とせせらぎを設け、湧水からの清流にはエビやグッピー



等が泳ぐほか、遊歩道には小鼓橋、ベンチを配し、サルスベリ、サガリバナ等の他、地域住民により草花も植栽し、時季には鮮やかな花が咲き誇ります。また、せせらぎ通りの入口にはシンボルでもあるシーサーの口から滝のような水が流れており、せせらぎ通りの清涼感を演出しています。1990年には「ふるさと手作り郷土賞」の建設大臣賞も受賞しています。



1980年整備当時の様子



通り入口の出迎えシーサー



通りのシンボル シーサー噴水



手づくり郷土賞 受賞記念碑

日中は地域内外の保育園児らが遠足や園外保育等で訪れたり、土日にも子ども連れの家族が来て、散歩やウォーキングを楽しんだり、近隣住民が木陰やベンチで涼んだり等、地域のランドマークとなり住民の憩いの場となっています。



3. 美化活動団体の発足

一方で、住宅が建ち始めた 1990 年代から、家庭ごみや空き缶などが捨てられるようになり、植栽の樹木は十分に手入れが行き届かず、うっそうとして根も張り出している状況でした。「水は枯れることも濁ることもない。他地域では見られないこの魅力を生かし、みんなに親しまれる場所にしたい」との思いから、通りの近くに居住する住民数名が個人で通りの清掃をし、木を間引き、土を整えて花壇にするまで 5 年をかけて手入れを行いました。



個人の活動が広がり、また地域での呼びかけ等により 2019 年に「せせらぎシーサー通り会」を結成し、遊歩道に面する住宅に住む 16 人が当初会員となってボランティアで植栽や水路の手入れを始めました。また、2020 年 4 月には「花と緑のまちづくりコンクール」で沖縄タイムス社長賞を受賞しました。通り会結成後は、隣近所の住民との交流も深まり、地域のコミュニティ形成の場となっています。

4. せせらぎシーサー通り会の現在の活動について

1) 組織紹介

組織名：せせらぎシーサー通り会

会 長：宮城 眞光

会 員：33名（2023年現在）

予 算：宜野湾市水と緑の愛護活動助成金

「せせらぎシーサー通り会」結成にあたって、自治会長の助言で市都市計画課に会結成の申請書類を提出したところ、承認を受け活動費として助成金が交付されました。

私たちは、まず初めに園芸用工具備品として、へら、剪定ばさみ、竹ぼうき等を購入し活動を始めました。年1～2回、5種類ほどの花苗300ポット、堆肥6袋の配布を受け、会員総出で植付け作業を行っています。

2) 活動内容

通り会では、年間を通して定期的に管理活動を実施し、ふんしんせせらぎ通り及び周辺地域の美化に努めています。

(1) 遊歩道周辺の清掃及び除草

私たちは、基本的には「各分担区域を決めて、各自の都合に合わせて作業をしていただく」ということで清掃除草を行っています。早朝から或いは陽が傾いてから作業する会員もいます。

(2) 草花の植付け

市の担当課から造園業者を通して、年に1～2回、5種類ほどの草花と堆肥ほか培養土が配布されます。その際は全会員に連絡し、植付け作業に取り組みます。草花はペチュニア、ベゴニア、ナデシコ、バーベナ、

コスモス、パンジー等が主です。その他、個人の庭からアマリリス、ツバキ、サルズベリ、センネンボク、クロトンなどを持ち込み植栽する会員もいます。

(3) 水遣り・追肥等

せせらぎは水が豊富なため、如雨露やバケツさえあればいつでも簡単にできます。追肥については、助成金の予算から固形の油粕や化成肥料を購入し施肥しています。特に、草花植栽直後の施肥については留意しなければなりません。

	活 動 内 容				活 動
	清掃	除草	草花植付	その他の活動	延人数
4月	3回	3回	花苗300	除草・水やり	10人
5月	3回	3回		水やり・追肥	5人
6月	3回	3回		水やり・追肥	5人
7月	3回	3回		水やり・追肥	5人
8月	3回	3回		水やり・追肥	10人
9月	3回	3回		水やり・追肥	10人
10月	3回	3回		水やり	5人
11月	2回	2回		除草・客土	15人
12月	2回	2回	花苗300	花植え・水やり	10人
1月	2回	2回		水やり・追肥	10人
2月	2回	2回		除草・客土	15人
3月	2回	2回	花苗300	花植え・水やり	8人



遊歩道沿いの除草



花壇の除草



草花の植付



せせらぎの清掃（藻取りなど）

（４）その他活動など

ふんしんせせらぎ通りには、サガリバナの大木が数本あり、7月頃の開花時期には、多くの愛好家が駆け付け賑わいます。また、時季になりますとゴイサギやシラサギが飛来し、餌を探し求めている姿を見ることができます。

また、子ども達の健やかな成長を願って、ゴールデンウィーク前にはせせらぎ通りに初めてこいのぼりの掲揚もおこないました。50～100cmの小型サイズ150匹を選んで、通りの木々や家の壁に綱を張って設置しました。せせらぎ通り全体がまるでコイが泳ぐ川のようになり、子ども達や通りを訪れる方々に楽しんでもらいました。



5. せせらぎシーサー通り会のこれからの活動

1) 活動ボランティアの募集

せせらぎシーサー通り会は結成から5年が経ち、今後もより一層の清掃・緑化に向けて息の長い取り組みになりますが、高齢化も進み会員の減少が心配です。そのために、自治会広報誌による活動ボランティアの募集を行ったところ、10名(30~40代)のボランティアが集まり、現在33名の会員で活動しております。今後も引き続き、若い世代を中心に声掛けを行って会員の確保に努めていきたいと思えます。

2) 活動資金

活動原資となる助成金については、毎年、市の担当部署の都市計画課に所定の書類を提出することによって、助成決定され交付されます(今年度は38,000円)。提出書類については、担当課の職員も丁寧に対応していただき心強いです。また、会員は団体保険にも加入、小さな怪我でも報告し対応頂いています。今後も継続して市と連携して取り組んでいく所存です。

6. まとめ

本日の亜熱帯緑化事例発表会で、我がせせらぎシーサー通り会の活動状況を報告する機会を与えられたことに感謝し、今後の活動に活かしていきたいと思えます。また、この緑化活動を通して、豊富な水、癒しの緑地帯を通して魅力ある地域づくりに貢献し、保育園児や子ども達の賑やかな声が響く、安全・安心に遊べる場にしたいと思っております。

散歩、ウォーキング、ペットの散歩等をする中で、挨拶を交わし、また「ごくろうさん」との声掛けを通して地域のコミュニケーションづくりの場、子どもが安心して遊べる場、蛍が飛び交うせせらぎ通り、ひいては「健康都市」、ねたてのまち「ぎのわん」を代表する「水と緑のまち」を創っていききたいと思えます。

せせらぎ通り 清掃ボランティア 募集 せせらぎ通りを伊佐区民の力できれいにしよう



せせらぎ通りは、伊佐区内外から散歩や見学に訪れる方が多く、今や伊佐区には、欠かせないメイン通りとなっております。現在、せせらぎシーサー通り会は、会長 宮城眞光氏をはじめとする会員23名で管理を担っておりますが、この程「地域の皆さんに指導を行いつつ、人材育成に努めたい」との意向を受け、地域の清掃ボランティアを募集致します。

活動内容

- ① 2ヶ月に1回(第2日曜日 周辺の草刈り・池の清掃)
- ② 6月・12月 区内草刈り清掃作業の日(草刈り清掃・池の清掃)
- ③ 11月・3月 花植え

※ 空き時間を利用して花に散水や草刈りを行っても良い

担当箇所に花壇が設けられます

清掃の様子



ご協力可能な方は、下記までお問い合わせください。
伊佐区自治会 098-898-2944

ボランティア募集のチラシ

